

膀胱全摘術、腎尿管全摘出、経尿道的膀胱腫瘍切除術が施行された患者の予後解析(多施設後方視的観察研究)

## 1. 研究の対象

1990年4月～2018年12月までで膀胱全摘術、腎尿管全摘出、経尿道的膀胱腫瘍切除術が施行された方

## 2. 研究目的・方法

膀胱全摘術、腎尿管全摘出、経尿道的膀胱腫瘍切除術が施行された方の治療効果のデータを解析する事で、その方の予後（生存しているか、再発が無いかなど）について予測できる因子がなにであるかを解析する事を目的とします。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、身長、体重、採血データ、投与薬剤など

## 4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

個人が特定できないように細心の注意を払った上で、治療内容や成績のみを匿名化して慶應義塾大学泌尿器科に記録媒体を用いて届け、解析を行います。

## 5. 研究組織

研究代表者

水野 隆一、慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室

共同研究機関

さいたま市立病院・泌尿器科・医長 吉峰 俊輔

静岡県立静岡がんセンター・泌尿器科・医長 山下 亮

埼玉医科大学国際医療センター・泌尿器腫瘍科・助教 城武 卓

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

## 資料 4

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

川崎市立川崎病院 泌尿器科 茂田 啓介

210-0013 神奈川県川崎市川崎区新川通 12-1 川崎市立川崎病院

代表：044-233-5521

研究代表者： 水野 隆一、慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室

-----以上